

地域活性化へ連携協定

熊本信金、崇城大、学生ベンチャー



地域活性化へ向けて連携する協定を結んだ（左から）中山峰男崇城大学長、品川良照熊本信用金庫理事長、星合隆成コンセプトラボ会長＝24日、熊本市役所

熊本信用金庫と崇城大、同大の学生らが運営するベンチャー企業「コンセプトラボ」（合志市）の3者が24日、地域活性化や中小企業の課題解決に連携して取り組む包括協定を結んだ。

1クとの連携を通じて取引先が抱えるさまざまな課題の解決手法を探る。ネットワークに金融機関が加わることで、金融面の知識などを生かした地域活性化プロジェクトの進展も期待できるといふ。

「たい」、崇城大の中山峰男学長は「学生が新たな事業に取り組むきっかけにして、人材育成につなげたい」、コンセプトラボ会長の星合隆成同大教授は「企業の問題解決と地域活性化に貢献したい」と、それぞれ語った。

（辻尚宏）

コンセプトラボは熊本市中央区の「崇城大SCB放送局新市街スタジオ」を運営。スタジオを拠点に、情報メディアや行政、医療機関などが人的ネットワークをつくり、テレビ番組制作や熊本地震の被災者支援など約50のプロジェクトを進めている。

熊本市役所で会見。熊本信金の品川良照理事長は「中小企業の持続的な発展を後押しし

この日、3者の代表が熊本市役所で会見。熊本信金の品川良照理事長は「中小企業の持

同信金は、ネットワ

続的な発展を後押しし